

1. プロジェクトの目的（私たちはそのプロジェクトになぜ取り組むのか）

私たちの教会形成とは、キリストの教会を建て上げることです。この世的な成功を求める心や、性・金銭・権力に関する逸脱から、どのように教会は守られていくことができるのか。謙遜(Humility)と誠実(Integrity)と質素(Simplicity)へ教会を変革し続けるために、日本の文脈において何が鍵であるかを明らかにし、健全な教会形成に寄与します。

2. 目標（その目的を達成するためにいつまでに何に取り組むのか。）

- ① 現代の教会を取り巻く現状と課題を、特に倫理の面から明らかにする。
 - その際に、聖書が語るキリストの教会と、現実のギャップを知る
 - ケープタウン宣言における謙遜・誠実・質素の項目を参考にすが、それは日本ではなくグローバルの文脈なので、日本の文脈における謙遜・誠実・質素とは何かを考える。
- ② 日本の教会を、キリストの教会としての謙遜・誠実・質素へと招くために、具体的な取り組みを行う。
 - 神戸における日本伝道会議では、宣教を前へ推し進める発表やプロジェクトが数多くみられると思われる。本プロジェクトはそれらとは異なり、前へ進む動きに時にはブレーキをかける「倫理」を提示しなければならない。具体的には、日本の文脈において、教会に誠実さがみられず変革を必要している項目を明らかにして、公表する。
 - JCE7に向けて、それらの項目について情報発信を行い、具体的な取り組みを推進する。

3. 実施計画（具体的に誰が何をするか）

- ① 2016年3月～2016年7月
 - JCE6で発表する内容を確認する。
- ② 2016年9月
 - JCE6で求められている発表を行う。
 - JCE7に向けて取り組む内容、手段を明示する。伝道会議で参加者、協力者を求める。

相談事項：

- ・ 日本の教会に必要な倫理と言っても範囲が広く、他のプロジェクトと重なる。役割分担を明確にしてほしい。
- ・ JCE6で求められている発表について具体的に教えてほしい。成果物のイメージができていない。（プロジェクト内に経験者も少ない）。
- ・ このプロジェクトは最後には発足したと聞いているが、どのような経緯で必要性が生じたのか教えてほしい。